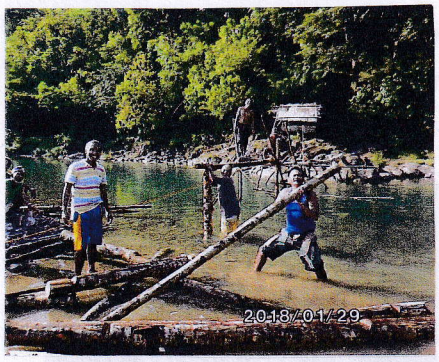
「フィリピンに本をおくる会」通信　No/8 2019/5

発行所：『フィリピンに本をおくる会』事務局　（代表：金子多美江）

〒338-0012　さいたま市中央区大戸４－８－１３　☎ 048-831-7538

多くの成果を残し、18年度終わる！！



流されても流されても橋はすぐ再建され、人々はたゆまず立ち上がる

「フィリピンに本をおくる会」の活動は多くの成果を残し、４年目を無事終了、皆さんの心温まるご支援を厚くお礼申し上げます。

日本も現地も活動の幅が広がり、さまざまの難題を乗り越えながら、順調に発展しています。現地では、昨秋大洪水で家・田畑が流され、加えて水疱瘡が蔓延、近隣の村では亡くなった子どももいたそうですが、幸いここは実害がなく、やっと生活が元に戻ってきたとのこと、図書館も多くのボランティアの尽力で開館日も増え、子どもたちは相変わらず読書にいそしんでいるとのこと。また、マイクロファイナンス（低利貸付制度）を活用し、ミシンを修理してカーテン、枕カバー等を制作するグループもでき、自立への一歩も試みているようです。

そんな中でスタッフが取り組んだのは、「山の学校」18校に本を届ける活動です。日本の本集めでは複数本がかなりあり、それらを活用してはどうかと、各校３冊（図書類・物語・科学の本）ずつを前便で送ったのですが、それをスタッフが車で各校に届けるのです。タナイ市では平地の「町の学校」、山間にある「山の学校」と行政が分かれ、主として山岳少数民族の多い「山の学校」は１８校、そのすべてに２カ月かかって届ける仕事が完了、苦労は多かったけれどとても良かった・・・と報告が来ています。

さて、令和となった５年目の活動は、これらの成果の上に立って縮小・閉会の方向も考えておりますが、後継者を見つけて出来るだけの支援を続けたいと思っておりますので、引き続き後押しをどうぞよろしくお願い申し上げます。

～～今年度の活動報告　～～

４月　・チャリティーコンサート
　　３００余人参加で大盛況
５月　・本送り（１２０冊）
　　・大宮フリーマーケット参加
６月　・横浜岩竹邸で『手しごと展』参加
７月　・「あっぷるはうす」即売会
８月　・「子どもの本研究会」参加
９月　・本の購入・翻訳活動
10月　・大宮フリーマーケット参加
11月　・本送り（１６０冊）
12月　・「あっぷる・はうす」即売会
１月　・「びーんず」即売会
２月　・現地訪問３人（本１００冊持参）
３月　・本づくりの会
　　・「やってるよ」即売会
　　・北浦和フリーマーケット参加
４月　・本送り（１７０冊）　計５５０冊
＊「あむあむ」：毎月例会開催
＊　　4年間の送付数　　1715冊

皆様から届けられた送付品は　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

この好意の山は、仕分けされ、本とともに詰められて海を越え・・

現地ウーカイウーカイ（フリーマーケット）は大人気でジャンケンやくじ引きをするほど。収益は図書館の運営、修理費などにあてられる。

「あむあむ」大活躍！！

技術の上達した「あむあむ」の製品は人気も高く、８回の展示即売会で大きな収益をあげて大喜び！

若い人たちも混ざって楽しい本づくり！！

中学生・若い主婦たちも参加してフィリピンを語りながら本づくり。世代間交流もばっちり！！

学校訪問に出かけるスタッフ、
このようにして１８校訪ねる。

◆ 現地報告　私たちもがんばってます！！ ◆

日本のＦＮＬの皆さん、お元気ですか？　いつも心のこもった援助をありがとうございます。 洪水、台風は毎年のように来ますが、私たちはすぐに立ち直ります。「山の学校」に本を届ける活動は、５時間もかかった所もありましたが、行く先々で喜ばれ、子どもたちはすぐに読み始め、先生たちは質問攻めでした。
疲れましたが「山の学校」６０００人以上に幸せを持って行ったのだと、私たちも幸せでした。みんな日本人の心に感謝していました。

オモンの詩

本をとどける

オモン・メンデス

私たちＳＰＭは　ほんとにうれしい
たくさんの子どもたち、先生たち
両手をひろげて迎え
本たちをだいじに　うけとってくれる
そして私たちは　仲間になる

サンタ、イネス、ナヨン、キナブハン
ティヌカン、カヤブー、マミヤウ、
サントニンニョ、サンアンドレス、
タブロン、クヤンバイ、アヤガイ、
アラス・アシン、ピナグサビラン、
アデライ・デライ、サンパロック・・・
山の学校　奥の奥まですべてたずねた、

私たちＳＰＭ は　ほんとにうれしい
校長先生も　みんな　なかま
そしてなかまは　どんどんふえていく
本を通して　私たちの結びつきは
どんどん強くなる

市長さんも応援してくれ
私たちは一歩をふみだした
山の子どもたちの力は
予想を超えて　どんどん伸びていく

日本のＦＮＬのみなさん！
本をこんなにもたくさんの人に
送ってくれて　ありがとう！

＊ＳＰＭは現地組織の呼び名
ＦＮＬは現地の私たちへの呼び名

「山の学校」の一部を紹介します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ナヨン

一番山奥の学校で一学級・先生一人、先生は学校に住み込んでいる。

アラス・アシン

早速体育館で　読み聞かせ、みんな楽しそうだった。

ピナグ　サビラン

今まで見たことのない美しい本だね。来年も忘れずにきてね・・と何回も。

クヤンバイ

みんな図書館（図書室）をとても欲しがっていました。
ポップアップ・塗り絵の本なども。

ワワ

校長先生は、もとマンガーハンにいた。全校の子に読み聞かせをしたそうだ。

ライバン

どうしたら、こういう本が手に入るの？どうやって送られてくるの？先生たちから質問攻め。

送付された写真を見てびっくり！24年、10年前の訪問時に比し、校舎、掲示物、子どもたちの様子に格段の変化があり、教育に力を入れているのがよく分かりました。でも本の力はまだまだ・・・。（金子多美江）